

表1 実績点検から判ること

実績	点検に必要な情報元	何が判るか	
技術面から点検	乳検成績・授精台帳	分娩間隔・授精回数・不受胎牛	
	乳検成績	個体乳量と乳成分	
	バルク旬報	衛生的乳質(体細胞・生菌数)	
	粗飼料の確保量	ロール数・バンカー詰め込み量・収量	
	粗飼料・土壌分析結果	サイレージ品質・ほ場養分の蓄積	
	診療記録	事故や疾病発生の多少とその内容・顛末	
経営面から点検	組勘実績	収入	出荷乳量・乳代、個体販売額
		支出	飼料費など生産費用
			賃料料金や支払い利息額
			臨時支出の有無とその額

今年の実績点検と
次年度の営農に向けて

(1) 実績の点検
酪農経営は、毎月莫大なお金が入り出します。ほ場作業が一段落したこの時期、今年度の実績から、計画の見込みや達成状況を確認しましょう(表1)。
乳検成績や組勘実績など様々な情報から実績を点検することによ

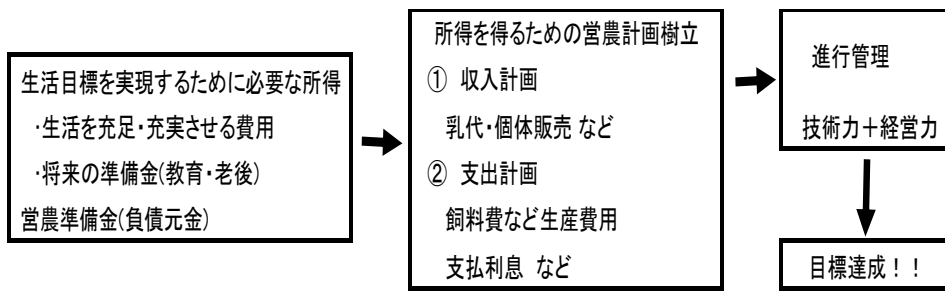


図1 所得を得るための営農計画の樹立とその進行管理

つて、改善点を客観的に把握し、次年度の営農に反映させましょう。

(2) 次年度の営農計画樹立
経営に対する価値観や経営環境

は農家戸々によって異なります。大切なのは、「家族の生活目標実現に必要な所得を確保する」という視点で営農計画を樹立することではないでしょうか(図1)。

営農計画樹立にあたっては、次のことを想定しましょう。

- ① 労働力と経営規模
- ② 分娩予定頭数
- ③ 自給飼料の確保と品質
- ④ 機械施設の償却・更新
- ⑤ 資金調達
- ⑥ 臨時支出
- ⑦ 飼料や生産資材などの価格変動

(3) 基本技術
所得向上(確保を図る上で、基本技術は不可欠です(図2)。すなわち、栄養バランスの良い飼料を確実に食い込ますこと。飼養環境、繁殖及び乳質の向上です。

経営規模の大小を問わず、酪農はこうした技術の上に成り立っていることを再確認し、よりよい経営を確立しましょう。

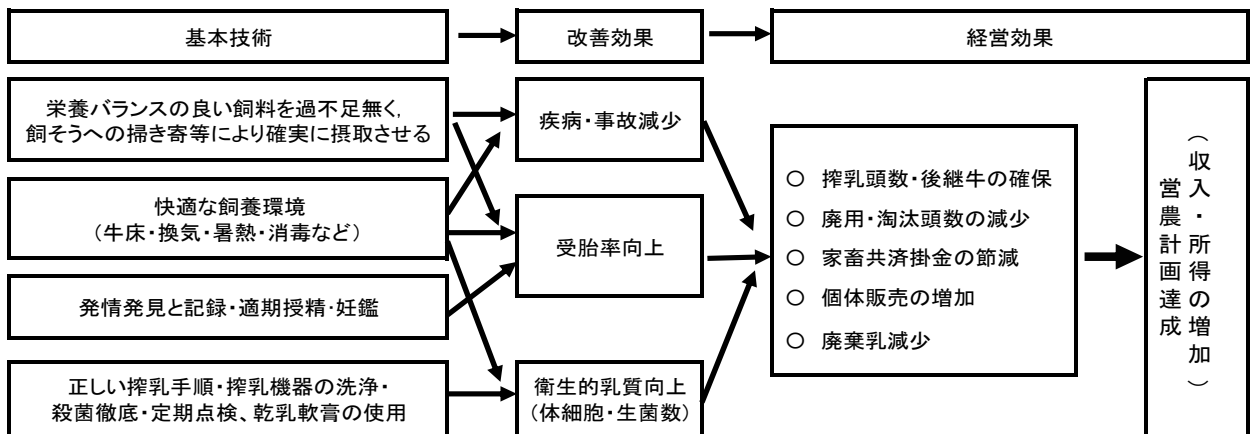


図2 計画達成のための基本技術